

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：芦生研究林に棲む動物たちの探索 ILAS Seminar :Exploring the animals living in Ashiu Forest			担当者所属 職名・氏名	フィールド科学教育研究センター 助教 鈴木 華実		
群	少人数群	単位数	2単位	時間数	30時間	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2026・ 前期集中	受講定員 (1回生定員)	5(5)人	配当学年	主として1回生	対象学生	全学向
曜時限	集中 未定	教室	フィールド科学教育研究センター 芦生研究林および北部構内フ ィールド科学教育研究センター 会議室			使用言語	日本語
キーワード	森林科学 / 森林生物 / 生態系 / 芦生研究林 / フィールドワーク						
【授業の概要・目的】							
<p>森林は生育する植物や地形などによって複雑な構造を有し、それぞれの場所に適した多種多様な動物が生息する場である。しかしながら、本来ヒトの生活圏から離れて生活する野生動物(特に哺乳類)はなかなか姿を見ることはできない存在であり、容易にはその行動や生態を観察することができない。このセミナーでは実際に森に入り、様々な調査、研究ツールを用いることによって、動物の存在を可視化できることを学ぶ。合わせて、動物の生活を支える森林植生についても観察や簡単な調査から学ぶ機会を提供する。一連の授業により、動物の生態への理解、およびそれらが生息する森林生態系というものに対する理解を深めることを目的とする。</p>							
【到達目標】							
<ul style="list-style-type: none"> ・森林生態系の仕組み、そこに生育・生息する生物について理解する。 ・野生生物の危険性について正しく理解する。 ・得られた成果をまとめ、発表する過程を経験する。 							
【授業計画と内容】							
<p>1. ガイダンス・事前講義</p> <p>場所：未定(京都大学吉田キャンパス内)。 確定次第、KULASISに登録されたメールアドレスに連絡。</p> <p>日時：未定(5月～6月の金曜5時限目のいずれかの日程で2回)。 確定次第、KULASISに登録されたメールアドレスに連絡。</p> <p>内容：事前講義と実習の内容の説明。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森林生態系、森林生物について ・植物と動物の関係について ・調査手法、安全講習 <p>2. 野外実習</p> <p>場所：京都大学フィールド科学教育研究センター 芦生研究林</p> <p>日時：9月28日～30日(28日朝集合、30日夕方解散) ガイダンス・事前講義時に集合場所と合わせて連絡予定。</p> <p>内容：以下に示す動植物を対象にした観察・調査。 状況によって、内容が変更になる可能性があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小型哺乳類：シャーマントラップによる野ネズミの捕獲 ・中・大型哺乳類：自動撮影センサーカメラを用いた撮影と撮影データの確認 ・地上徘徊性節足動物：ピットフォールトラップを用いた節足動物の捕獲・同定 							
ILASセミナー：芦生研究林に棲む動物たちの探索(2)へ続く							

ILASセミナー：芦生研究林に棲む動物たちの探索(2)

- ・鳥類：バードウォッチング
- ・動物全般：動物の痕跡探し
- ・植物：植生調査

【履修要件】

特になし

【成績評価の方法・観点】

実習への参加姿勢 (60点)、発表 (30点)、レポート (10点) により評価する。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

(参考書)

授業中に紹介する

(関連URL)

<https://fserc.kyoto-u.ac.jp/wp/ashiu/>(京都大学フィールド科学教育研究センター 芦生研究林)

【授業外学修(予習・復習)等】

ガイダンスの前に芦生研究林についてホームページ等に目を通してきてください。

【その他(オフィスアワー等)】

- ・野外実習にかかる費用
宿泊費・食費等実費としておよそ5千円かかります。
集合場所(JR園部駅を予定)までの交通費も自己負担になります(復路も同様)。
(例 京都駅 園部駅 片道590円)
- ・参加希望者は学生教育研究災害保険(学研賠つき)に必ず加入してください。
- ・開催時期によって前期の成績公開時に間に合わない可能性があります。
- ・質問等は鈴木(suzuki.hanami.2m@kyoto-u.ac.jp)までご連絡下さい。
- ・特別な装備を準備する必要はありません。文理問わず誰でも参加可能です。

【主要授業科目(学部・学科名)】